TOKYO BAPTIST CHURCH

class 210

SG Training

日本語

DISCOVERING YOUR ESSENTIALS FOR SMALL GROUP LIFE

"He cared for them with a true heart and led them with skillful hands."

Psalms 78:72 (NLT)

SESSION ONE

Welcome!

このセミナーを受けるための心構え

このセミナーはいろいろな実用的教え、テーブルでの対話、個々の調査からなっています。このセミナーを始める前に、これらのことを頭に入れてください:

- 特定の方法ではなく、応用できる原則を見てください。特定の方法よりも、原則の方がみなさんのスモールグループに採用しやすいはずです。健全なスモールグループの原則はグループの大きさに関わらず適用できます。

- 自分と比較をしないでください。比較は無益です。比較すると自分が劣っていると感じたり（劣等感）、横柄になったりします（優越感）。どちらもいい態度ではありません。失敗談も少ししますが、みなさんには私たちがこれまでに犯した全ての間違いや失敗が見えません。他人のミニストリーは離れて見ると良く見えることを念頭に置いてください。私たちにもそれが当てはまります。

- 自分がしていないことに罪悪感を感じないこと。自分自身がその方法を考え出していないことに罪悪感を持たないでください。「オリジナリティがある」のと「実を結ぶ」のとどちらが重要だと思いますか。この教材の中から使えるものをどうぞ使ってください。

- 健康なミニストリーには時間がかかります。セミナー終了後に、どうぞ深呼吸をしてください。辛抱強くかつ現実的であってください。最優先であると感じた原則から実行する計画を練ってください。時間をかけて、慎重に進めてください。神様の知恵に頼り、他の人の助けを受けるのを恐れないでください。

- たゆみなく歩み続けてください。「目的を意識して進む」スモールグループは根気がいります。このセミナーの原則は「目的を意識して進む教会」（ＰＤＣ）にピッタリです。しかしそれでも自分の教会に合ったように応用する必要があります。ノートにメモをとり、テープを聴き、ノートにメモをした箇所を復習してください。また、他のリーダーと討論してください。資料と原則を見直せば、見直すほど、理解が深まっていきます。理屈ではわかっても、本当に理解するのにさまざま手法を必要とします。

スモールグループ・ミニストリー
東京バプテスト教会

Notes

SESSION ONE

スモールグループ計画

完成品を想定して始める

「明確な目的がなければ、あなたは自分の進路や仕事、人間関係、教会といった外的要因を常に取り替えていくことになるでしょう。あわよくば、そのような外的変化が混乱を収め、心の空しさを解決してくれることを期待するわけです。きっと今度こそ違うはずだという淡い期待を抱いてはみるものの、人生の焦点が定まらずに目的を見失っているという現実を解決することにはならないのです。聖書は言っています。*『浅はかで思慮に欠けた生き方をしてはなりません。主が願っておられることが理解できているかどうか、よく考えてみなさい。』*エペソ人への手紙５：１７（メッセージ訳）」

『人生を導く５つの目的』　リック･ウォレン牧師著 (p. 42)

「スモールグループは、教会の裏門を閉める最も効果的な方法です。スモールグループとつながりをもった人達はいなくなる心配がありません。彼らは効果的に適合することができたのです。」

***『健康な教会へのかぎ』*　リック･ウォレン牧師著 (p. 327)**

「もし斧が鈍くなったとき、その刃をとがないと、もっと力がいる。しかし知恵は人を成功させるのに益になる。」
伝道者の書 10:10（新改訳）

***「風を警戒している人は種を蒔かない。雲を見ている者は刈り入れをしない。」*　伝道者の書 11:4（新改訳）**

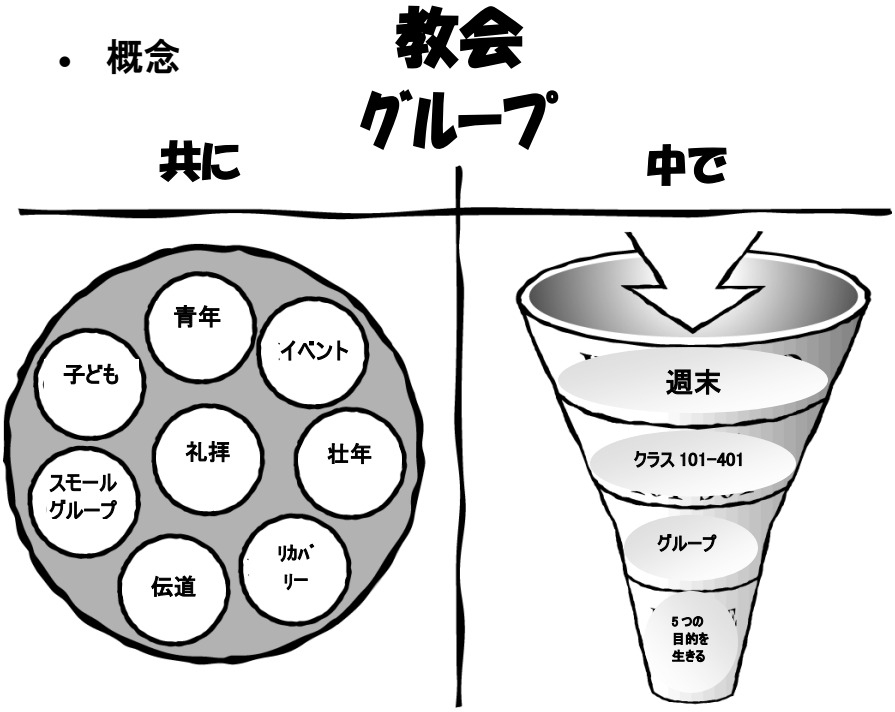
Notes

SESSION ONE

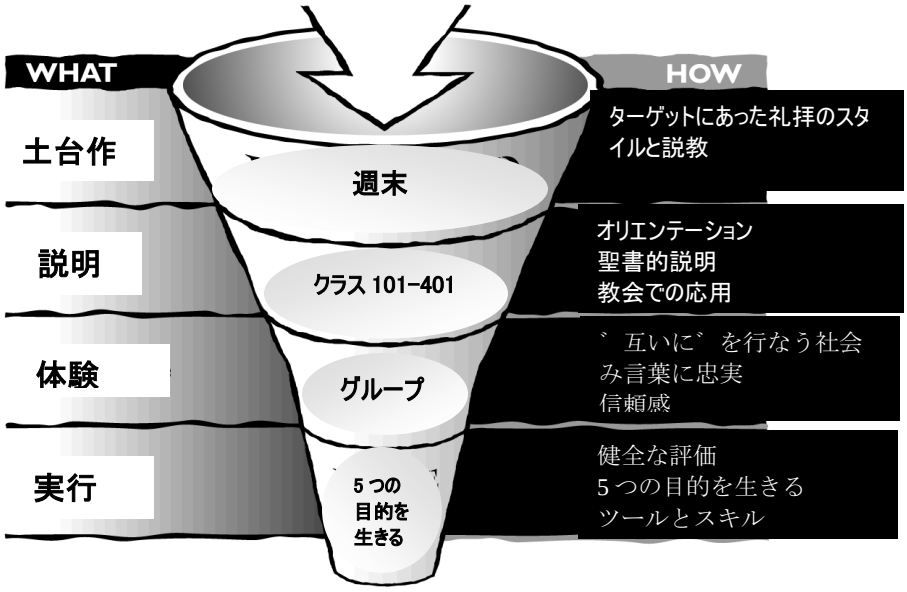
1. スモールグループの教会内における役割を理解する。

「そして、毎日、宮や家々で教え、イエスがキリストであることを宣べ伝え続けた。」 **使徒の働き5：42（新改訳）**

- **概念**



- **スモールグループをどう理解し、どう実行するか？**



Notes

SESSION ONE

Notes

2. 自分のビジョンとミッションを知る。

聖書からくる５つの目的が教会中（大きいグループ、小さいグループ、スモールグループ、一人一人の信仰生活）に浸透するという目標から片時も目を離さない。

ビジョン　何故ここにいるか

教会の中心となっている奉仕者から、広がる地域社会の一人一人が健全なスモールグループの一員となっていること。

「みなさんが、お互いに対して尊厳と敬意を持って接する努力をした時にはじめて、神様に喜ばれる健全なコミュニティー生活を楽しむことができる」

ヤコブ 3:18 (メッセージ)

ミッション　何をするべきか

真実を求めていた者が、人生の５つの目的を生き、また他の人にもそのような生き方を促す、生まれ変わったクリスチャンとなる手助けをする。

＿＿心＿＿ から

「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。牧者でなく、また、羊の所有者でない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして、逃げて行きます。それで、狼は羊を奪い、また散らすのです。それは、彼が雇い人であって、羊のことを心にかけていないからです。」　　**ヨハネ 10:11-13 (新改訳)**

＿あわれみ＿＿ を持って

「また、群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかわいそうに思われた。そのとき、弟子たちに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。』」 **マタイ 9:36-38 (新改訳)**

Notes

熱意 を持って

「なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです。」
2 コリント 5:10 (新改訳)

**どうようにこのビジョンとミッションを達成するか？
このセミナーで教える原則を実行すること**

3. パーパスドリヴン・スモールグループのあり方を聖書から学ぶ

A. 目的を明確に定義する聖書箇所

大宣教命令 マタイ 28:19-20 (新改訳)

「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい(伝道)。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け(交わり)、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい(成長)。」

最大の戒め マタイ 22:37, 39 (新改訳)

「心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ (礼拝)。」

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ (奉仕)。」

SESSION ONE

B. 5つの要素: 使徒 2:42-47

1. _____成長_____

「彼らは使徒たちの教えを堅く守り…」 **使徒 2:42（新改訳）**

2. _____交わり_____

「そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし…」 **使徒 2:46（新改訳）**

3. _____礼拝_____

「一同の心に恐れが生じ…」 **使徒 2:43（新改訳）**

4. _____奉仕_____

「それぞれの必要に応じて、みなに分配していた…」 **使徒 2:45（新改訳）**

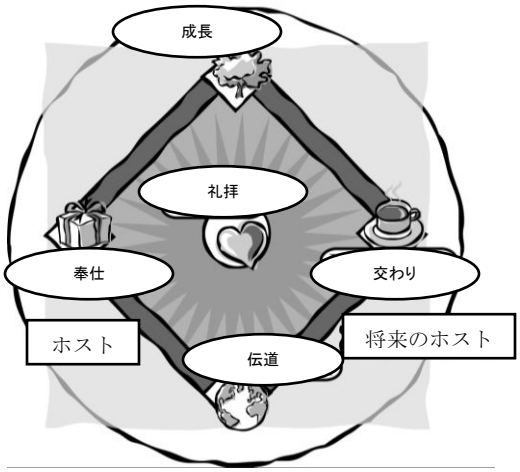
5. _____伝道_____

「主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。」 **使徒 2:47（新改訳）**

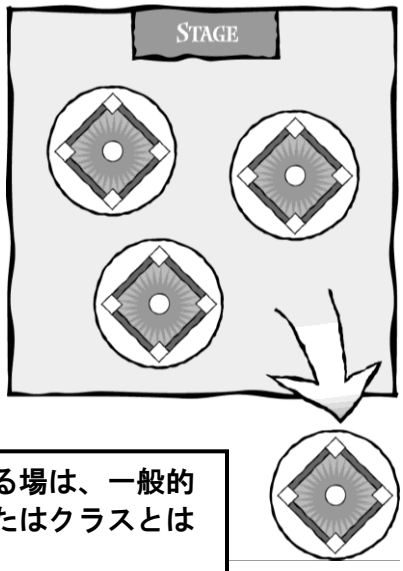
Notes

SESSION ONE

グループが分散している場合
(教会の敷地外)



グループが一箇所に集まっている場合
(教会の敷地内)



奉仕と伝道が行なわれる場は、一般的にスモールグループまたはクラスとは別の場所。

Notes

Notes

4. 7 つの基本的確信

1) ひとりひとりの人生がパーパスドリブンライフを持つことがゴールである。

2) パーパスドリヴン・ライフを実現するための一番の方法はバランスの取れた __スモールグループ・ミニストリー

なぜスモールグループなのか？

- 無限に数を増やすことが可能
  （家はあらゆる場所にある）
- 無限に地域を拡大することが可能
- 良いスチュワードシップ
  （場所でなく、ミニストリーにお金を費やすことが可能）
- より親密な人間関係をつちかう
  （家のほうがリラックスできる）

3) 一番能率の良い訓練は __実地訓練__ である。

4) どのグループも、教会の５つの目的を __実行__ しなければならない。

5) スモールグループに人を招くには、 __意図的__ な配慮が必要である。

6) グループを長期間続けるには、 __サポート__ （コミュニティー・リーダー）と __トレーニング__ （リーダーズ・トレーニング）が必要である。

7) 新しいホストを養成するには、メンバーがスモールグループを __共有__ することが重要。

SESSION ONE

5. グループメンバーの成長 _レベル_____ を知る。



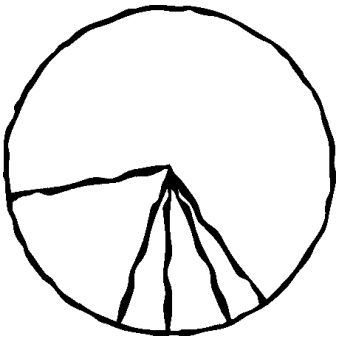
レベル	関わり方	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾒﾝﾊﾞｰ
使命感を持つ	伝道/ミッションに携わる人	_____
中心	すでにホストとなっている人	_____
補佐	将来ホストになる決意をした人	_____
グループ員	自分がｸﾞﾙｰﾌﾟの一員であると思うようになった人	_____
参加者	定期的にスモールグループに参加する人	_____
コミュニティー	まだｸﾞﾙｰﾌﾟに加わっていない人	_____

Notes

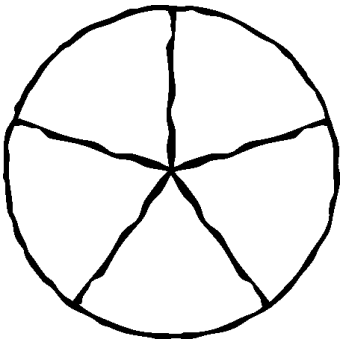
SESSION ONE

6. ５つの目的の_バランス_____が鍵

健康的でない
（ﾊﾞﾗﾝｽが取れていない）



健康的
（ﾊﾞﾗﾝｽが取れている）



A. グループが集まるたびに５つの目的を _果たす_____ という意味ではない

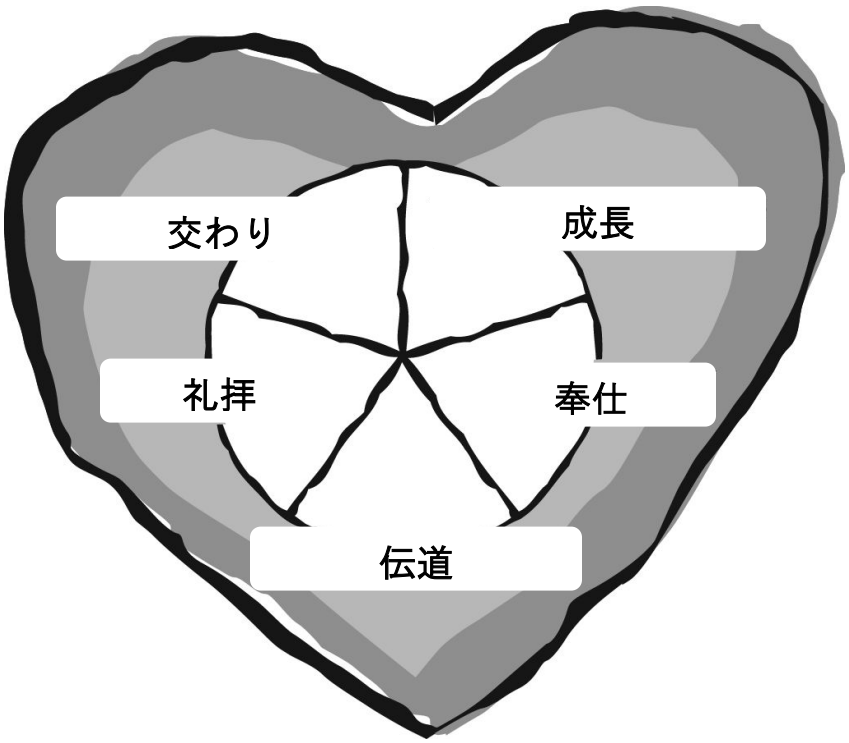
B. 定期的にグループのバランスを_評価_____ する

健康のバランスをより良く持つためにトレーニング２１１にご出席ください

Notes

Notes

7. **健康チェック　　を使ってバランスよく 5 つの目的を果たしているかを吟味する。**



課題

- 「健康チェック」を行い、**目的別**に自分の**ゴール**を決める

SESSION TWO

スモールグループ・サバイバル・ガイド

最終的にグループにどう育ってほしいかを知る

「共同体は、献身を要求します。信者同士の真の交わりは、御霊だけが造り出すことができるものですが、御霊は私たちの選択と献身を用いて交わりを育てられます。パウロはこの二重の責任について、次のように指摘しています。「あなたがたは御霊によって、平和のきずなで結ばれました。ですから、あらゆる努力をして、そのきずなを保つように務めなさい。」愛のクリスチャン共同体を築き上げていくためには、神の力と私たちの努力の両方が必要です。」

『人生を導く 5 つの目的』 **リック・ウォレン牧師著 (p. 195)**

「教会が大きくなればなるほど、スモールグループでの教会員のケアが重要になります。スモールグループは惨事の時に必要な親身になったケアを提供します。サドルバック教会では、教会全体が船ならば、スモールグループは人命救助ボートのようなものであると私たちはよくたとえます。」

『健康な教会へのかぎ』 **リック・ウォレン牧師著 (p. 327)**

リーダーへのアドバイス

みなさんは一人ぼっちでリードする必要はありません。みなさんのグループの成長をお手伝いするためのコミュニティー・リーダーがいます。

Notes

SESSION TWO

1. 人々が何を求めているか 認識 すること

人が自分に問うこと:

- 自分はここに合うだろうか？　受け入れてもらえるかという不安からくる質問です。
- 誰か自分の知り合いになりたいと思う人がいるのだろうか？　これは友情関係に関する質問です。
- 自分は必要とされているのか？これは自分の価値に関する質問です。
- このグループに入ったら、どんないいことがあるのか？　これはメリットについての質問です。
- このグループに入ったら、どんないいことがあるのか？　これは期待に関する質問です。

リーダーへのアドバイス

メンバーの名前を挙げて祈ってあげてください。集まる直前に一人一人の名前を挙げて祈ってあげてください。神様がグループを通して一人一人の心に触れるよう、祈ってください。そして、神様があなたを通してメンバーを励まし、チャレンジすることを予期してください。

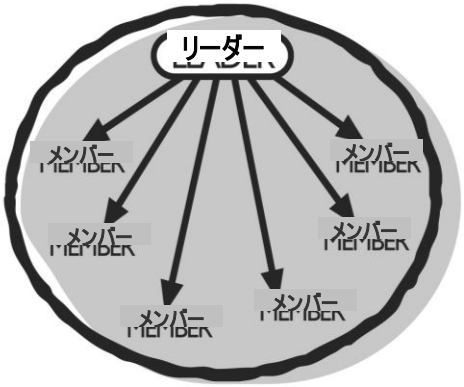
Notes

SESSION TWO

1. グループの集まりにおける成長　の瞬間を過小評価しないこと。

最善の環境を作ろう

インフォーメーションを一方的に供給



トランスフォーメーションを促す



A. _生き方の変化_ が起きるようにリードする

B. インフォメーションではなく、__トランスフォーメーション_ を目指す。

リーダーへのアドバイス

質問をしたら、辛抱強く返答を待ってください。誰かが必ず答えるはずです。ゆっくり考える時間をどうぞ与えてください。あなたが沈黙を気にしなければ、他の人も気にはしません。答えた人には「どうも、ありがとう」、「いい答え」と言ってあげましょう。そして「他の人はどう思いますか？」、または「他に何か付け加えたいことは？」と聞いてみてください。新来者やまだしゃべったり、祈ったりする勇気のない人にはどうぞ気を遣ってあげてください。安心して心を開ける場を提供していれば、時と共に心を開いてくれるはずです。

Notes

SESSION TWO

進行係をするときの秘訣

- 自分がした質問を自分で答えないこと。
- 発言がない静かな時に慣れること。
- 「はい」「いいえ」の答以上のものが出るようにする。（「他に何かない？」「これならどうかな？」「他に誰かいる？」）
- できる時は必ず賛成する。
- 全員が参加できるようにする。
- よい聞き手になるーフォローしてあげて、即座に訂正しない。
- 聖霊の導きに敏感になること。
- 開始時刻と終了時刻を守る。
- テキストを終わらせることにフォーカスしない。- 参加者の成長を助けることにフォーカスする。

リーダーへのアドバイス

質問と質問の間に変化をつける。「誰か質問もしくは聖書箇所を読んでくれないか」と聞く。指名しないで、誰かがボランティアするまで辛抱強く待つ。読み終えた後、お礼を言うのを忘れないこと。

Notes

SESSION TWO

Notes

C. スモールグループのガイドラインと同意書を用いる

価値観、グループに何を期待するか、協力すべき事項は何か、などを明文化しておくのはよいことです。共通の理解があれば、問題があっても公にしないことや期待外れを避けられるからです。健全なグループの基礎づくりのために、一度、ガイドラインについて話し合っておくことをお勧めします。適さない部分は、自由に変更してください。

グループのガイドライン・同意書

私たちは、以下の基準に合意します

明確な目的	**健全な環境を築き、健康な信仰生活を育みます。**
出席する	**ミーティングを優先します。（欠席や遅刻の場合は連絡します）**
安心できる環境	**参加する人が、話を十分に聞いてもらっている、愛されていると感じられる、安全な場を築くことを心がけ、協力します。（矢継ぎ早の受け答え、速断、安易な解決はしません）**
守秘義務	**ミーティングで語られたメンバーの個人的な内容を外に洩らしません。**
不和を解消	**マタイ 18：15-17 に沿ってゴシップとならずに早急に不和を解消する。人間関係に問題が生じた場合、まずは直接その人に問題を話す。**
健全な信仰	**神を喜ばせ、バランスのとれた健全な信仰生活を送るために、グループのメンバーが私を助けることを認めます。**
自分の自由を制限する	**信仰の弱い者がつまずかないようにスモールグループの集まり、イベントではアルコール飲料を飲まない。**
新しい人を歓迎する	**学びに友だちを招待し、新しい参加者を温かく歓迎します。**
関係作り	**他のメンバーと知り合い、彼らのために定期的に祈ります。**
ミッションを考える	**グループが個人、地域、世界レベルのミッションにどう参加するかを考える。**
役割分担	**目的を推進する係りを共に育てていく。**
その他	_____

私たちは、以下に同意します

- **お菓子/食事の時間** _____
- **ﾁｬｲﾙﾄﾞｹｱ**_____
- 集まる曜日_____
- 集まる場所 _____
- **開始時間** _____**終了時間** _____
- **なるべく同じ礼拝に出るようにする**:

☐ Sat 7:00 pm

☐ Sun 9:00 am ☐ Sun 11:00 am ☐ Sun 1:30 pm ☐ Sun 3:30 pm

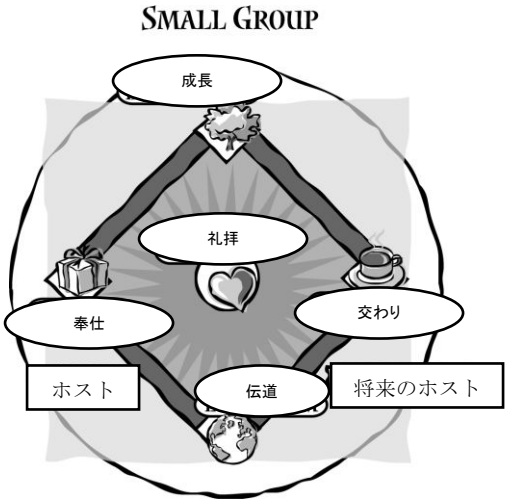
Notes

3. グループ内の全員が自分がグループの構成メンバーであると自覚が持てるように励ます。

「また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意しあおうではありませんか。」 **ヘブライ 10:24（新改訳）**

人は、奉仕し、責任を負っているときに最も成長します。どんなにつまらない仕事でも奉仕する機会になります。

- **交代でリードする**



- **グループのメンバーの役割分担の例**

将来のホスト

- ✓ ホストと共にリーダーを務める人を毎週交代する（質問の一部, オープニングの討論, 締めくくりの祈りなど)。
- ✓ 定期的にグループのリーダーを交代する（月に２，３回)。

礼拝

- ✓ 毎週、賛美と祈りのリストを作る.
- ✓ グループメンバーが一緒に礼拝に出るようにコーディネートする。（全員で出られない時は 2-4 人の小グループでも良い）
- ✓ どのように礼拝の時間を持つか、メンバーが自分で考えるように仕向ける（賛美と礼拝の CD やテープを家や車の中で聞く)。

SESSION THREE

Notes

交わり

- ✓ グループの集まりの会や、お祝いの会を計画する（誕生日, 夕食会、グループの集い)。
- ✓ 新しいメンバーや欠席しているメンバーに電話をしたり、カードを出したりする。
- ✓ グループの名簿や、スモールグループ・ガイドラインや同意書を管理する。

成長

- ✓ 一段階上のクラスに参加するように人々を励ます (101, 201, 210, 301, 401)。
- ✓ 目的ある人生の健康チェックをし、成長プランを立てるように人々を励ます。 それによってメンバーが次の霊的成長ステップを知るようになる。
- ✓ アカウンタビリティー・パートナーを持つ。

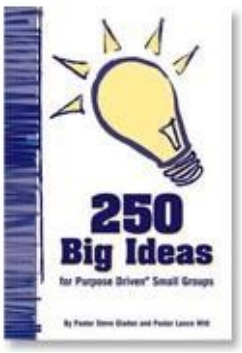
奉仕

- ✓ メンバー一人一人をグループの中で役付け、責任を少しずつ段階を踏まえて教える。
- ✓ クラス 301 に出席し、SHAPE プロフィルを記入し、面接を受けるように勧める。
- ✓ グループで一緒に奉仕する。

伝道

- ✓ 教会に属していない友人や家族のために祈るようにグループのメンバーに勧める。
- ✓ 教会に属していない友人や近所の人を自分のスモールグループに招くよう、グループのメンバーに勧める。
- ✓ グループでミッションを実践する。





Notes

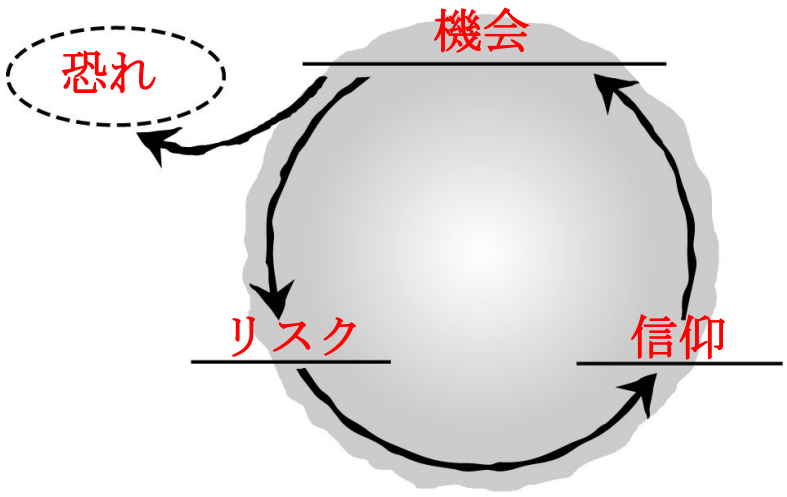
リーダーへのアドバイス

一人で全部やろうとしない。健全なリーダーシップ・チームが作れるように祈る。将来ホストとなっても良い補佐の人と一緒にリードすれば、さらに充実した体験を経験することができます。これは多くの人と共に健全なグループを築くチャンスです。グループに聞いてみてください。皆さんが快く引き受けてくれることにびっくりするはずです。

4. 育つのに適切な奉仕の機会を探す。

何故?

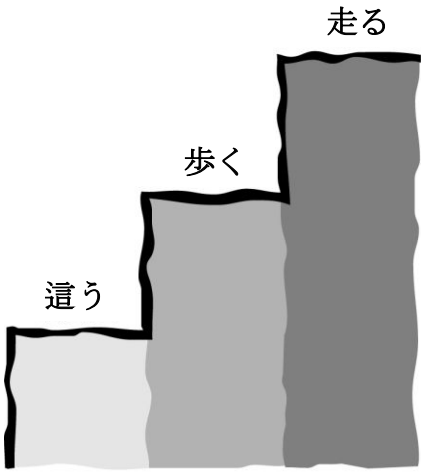
- **メンバー一人一人がとれるリスクの限界を知っておく**



SESSION TWO

どうやって?

- グループメンバー一人一人の次のステップが何であるかを知る



リーダーへのアドバイス

自分抜きでもグループが継続できるようにする。自分がバケーションで不在の時でもグループを継続させる。チームを作って、自分の不在時は彼らに任せる。他の主要メンバーが欠席する時も同じような配慮をする。他のメンバーに不在時に代理を務めてくれるかどうかを尋ねる。

みなさんの任務は教材をこなすことでなく、人を築くことにあります。

Notes

SESSION TWO

現在のみなさんのグループ・メンバーが
未来のスモールグループ・リーダー

5. _全員___ がグループに新たに人を招く、歓迎する

全グループが新来者を歓迎することが私たちの_モットー

メンバーを増やすには様々な方法 があります

- みなさんが選んだ人
- みなさんを選んだ人
- 神様が選んだ人

「与えられた機会を最大限に生かして、あなたがたも、この良い知らせを人々に伝えなさい。彼らとは、いつも賢く慎重に接しなさい。」 コロサイ人への手紙 4:5（LB）

「主は…ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです」
2 ペテロ 3:9（新改訳）

リーダーへのアドバイス

定期的に下の 3 つの聖句を読み、どうゲストをグループに招くかを討論する。

マタイ 9:35-38; ピリピ 2:1-5; 2 コリント 6:11-13

Notes

SESSION TWO

6. 新しいリーダーとグループの養成の鍵は_サブグループ___

どうしてサブグループを作るか？

✓ メンバーが _増える___ とケアが _減る_____.

いつサブグループを作るか？

✓ 全員に _話す___ 機会がないのであれば、サブグループを作るべき

✓ 深く話し合いを望むのであれば、サブグループを作るべき

どうサブグループを作るか？

８人以上のグループを３－４人のグループに分けることをサブグループと呼びます。ディスカッション終了後にそれぞれのグループの代表が話し合いの概要を発表する

心に留めておくこと…

- **将来のホストの養成を考慮してサブグループを作る**
  ４人ぐらいのグループでしたら誰でも話し合いをリードすることができる

- **将来新しいスモールグループができることを考慮してサブグループを作る**
  毎週４－６人のサブグループに分かれることで一人一人が成長できるとともに、グループも同時に成長できる

Notes

SESSION TWO

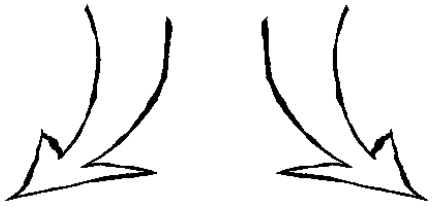
Notes







START TOGETHER **SUB-GROUP DURING** **STOP TOGETHER**



To raise up
Future Host:

S entence 一言

S ection 一部

S tudy 学習

To raise up
Future Groups:

M ix it up 混ぜる

M erge them together 相性の合う人を一緒にする

M ove them out 新しいグループとして送り出す

リーダーへのアドバイス

グループが 6 人以上になった時は 4-6 人以下のサブグループに分かれてください。小さいグループでは、一人一人の参加する機会が増え、理解と実践につながります。また、小グループは口数の少ない人にも話す機会が与えられ、一メンバーによって会話が独占される危険を防ぎます。そのほか、人前でお祈りをしたことがない人にとっては、2-3 人ぐらいとでしたら、抵抗なくお祈りをすることができます。大きいグループに戻った時に、各小グループの代表がそのグループの祈りのリクエストをみんなに話すと良いでしょう。

SESSION TWO

7. スモールグループにヘルシーな献立（こんだて）

リーダーへのアドバイス
グループと一緒に教材をどうぞお選びください。学びが終わりに近づいたら、スモールグループ教材のリストをグループで見てください。みなさんの希望を聞き、強い主張や多数意見を教材選びの参考にしてください。それまで気が付かなかったニーズがあるかも知れません。

スモールグループ　カリキュラム　長期プラン

目的　－　ホストやスモールグループが成長できるように、年間カリキュラムプランの作成、ヘルシーな献立作り、バランスよく五つの目的を織り込む教材選びをお手伝いします。

3 つのアプローチ:

1. カテゴリー別
   - 聖書のブックスタイル
   - 教義
   - ライフ・スキル
   - 伝道/求道
   - クリスチャンとしての成長
2. ５つの目的
   - 交わり
   - 成長
   - 奉仕
   - 伝道
   - 礼拝
3. 長期プラン
   - １年目
   - ２年目
   - ３年目
   - ４年目

リーダーへのアドバイス
バランスよく教材を組み合わせてください。グループの中には「終わりの時」だけを学びたい人がいるかも知れません。しかし、良いバランスがなければ、ヘルシーな献立とは言えません。時々、グループメンバーが選ばないカテゴリーの教材を用いることを提案して見てください。それがみなさんのグループが一番必要としている学びかも知れません。

Notes

SESSION TWO

スモールグループ　カリキュラム　長期プラン（つづき）

Suggested Annual Curriculum Pathway:

1年目 –	**期間**	**カテゴリー**	**5つの目的**
• 目的の40日間	6週間	ｸﾘｽﾁｬﾝとしての成長	全て
• 聖書のﾌﾞｯｸｽﾀﾃﾞｨ（どれかを選ぶ）			
ｺﾛｻｲ		聖書	成長
ﾔｺﾌﾞ - Vol. 1 & 2	12週間	聖書	成長
1 ﾃｻﾛﾆｹ - Vol. 1& 2	12週間	聖書	成長
• 教義（一つを選ぶ）			
ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ – 聖書	4週間	教義	成長
ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ – 神	4週間	教義	成長
ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ – イエス	4週間	教義	成長
ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ – 聖霊	4週間	教義	成長
ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ – 救い	4週間	教義	成長
ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ – 創造	4週間	教義	成長
• キャンペーン			
(TBCである時のみ)			

2年目 –	**期間**	**カテゴリー**	**5つの目的**
• 聖書のﾌﾞｯｸｽﾀﾃﾞｨ（どれかを選ぶ）			
ﾔｺﾌﾞ - Vol. 1 & 2	12週間	聖書	成長
1 ﾃｻﾛﾆｹ - Vol. 1& 2	12週間	聖書	成長
ｲｴｽが語る祝福の人生	6週間	聖書	成長
山上の説教	20週間	聖書	成長
エペソ- Vol. 1 & 2	12週間	聖書	成長
創世記	13週間	聖書	成長
• 教義			
ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ	4週間	教義	成長
• クリスチャンとしての成長			
パーパスドリブンライフ・Vol.1	7週間	ｸﾘｽﾁｬﾝとしての成長	全て
パーパスドリブンライフ・Vol.2	7週間	ｸﾘｽﾁｬﾝとしての成長	礼拝
パーパスドリブンライフ・Vol.3	7週間	ｸﾘｽﾁｬﾝとしての成長	交わり
パーパスドリブンライフ・Vol.4	7週間	ｸﾘｽﾁｬﾝとしての成長	成長
パーパスドリブンライフ・Vol.5	7週間	ｸﾘｽﾁｬﾝとしての成長	奉仕
パーパスドリブンライフ・Vol.6	5週間	ｸﾘｽﾁｬﾝとしての成長	伝道
• キャンペーン			
(TBCである時のみ)			

Notes

SESSION THREE

スモールグループ・サポートシステム

目的地とそこへ行く行き方を知る

教会における一致は非常に重要であるので、新約聖書は、天国や地獄などにもましてこのテーマに重点を置いています。私たちが一つになること、そして互いに調和を保つことを神は強く願っておられるのです。

一致は交わりの核心です。一致を破壊することは、キリストの体から心臓を切り取るようなものです。一致とは、私たちが神の教会において神が意図されたとおりに生きていく上で本質的なものです。

『人生を導く 5 つの目的』 リック・ウォレン牧師著 (p. 214)

教会は実際に奉仕に携わる中心となる教会員（スモールグループ・リーダー）以上に強くなることはありません。 教会にはそのメンバーの賜物を見つけ、サポートし、用いる意図的なプロセスが必要です。教会員が熱意を持ってキリストに奉仕できるプロセスを作る必要があります。

『健康な教会へのかぎ』 リック・ウォレン牧師著(p. 367)

Notes

SESSION THREE

1. 最終目的を達成するためには４つの人間関係が鍵となる

- ✓ **キリストとの関係** ― 試練、問題または良い時と強い関連を持ちます。これらはイエス様との関係を強くしてくれます。

  「わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」 ヨハネ 15：4-5（新改訳）

- ✓ **コミュニティー・リーダー** ― 状況対処、プロセス、決断を補佐するアドバイザー。スモールグループに問題があった時や助言が必要に相談する人。

  「互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。」 ガラテヤ 6：2（新改訳）

  名前_____

- ✓ **スピリチュアル・パートナー** ― 毎日のチャレンジを乗り越えられるよう継続して補助する同性の人。あなたを励ます、助ける、見守る仲の良い友人で、人生のチャレンジを信仰に基づいて乗り越えられるように応援してくれる人。同じスモールグループの友人であることが多い。

  「また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」 ヘブル 10：24-25（新改訳）

  名前_____

Notes

SESSION THREE

Notes

✓ **将来のホスト候補** — ホストからホストの仕方を学ぶ。ホストよりトレーニングを受け、成長する。

「多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。」
２テモテ２：２（新改訳）

名前_____

リーダーへのアドバイス

仮面をかぶらないこと。他の人と同じである必要はありません。人から学んだものに自分のスタイルを加えてください。わからない時は「わからない」、間違った時は「ごめん」と素直に言ってください。そうすれば、メンバーに好かれるし、自分も夜ぐっすり眠れるようになります。

SESSION THREE

2. 神様に __信仰____ をおいて前進する

「さて兄弟たち。私があなたがたのところへ行ったとき、私は、すぐれたことば、すぐれた知恵を用いて、神のあかしを宣べ伝えることはしませんでした。なぜなら私は、あなたがたの間で、イエス・キリスト、すなわち十字架につけられた方のほかは、何も知らないことに決心したからです。あなたがたといっしょにいたときの私は、弱く、恐れおののいていました。そして、私のことばと私の宣教とは、説得力のある知恵のことばによって行なわれたものではなく、御霊と御力の現われでした。それは、あなたがたの持つ信仰が、人間の知恵にささえられず、神の力にささえられるためでした。」 １コリント人への手紙 2:1-5 （新改訳）

- 良いリーダーはニーズを理解して、ビジョン達成、ミッション達成、任務遂行に労力を惜しまない

  「するとイエスは彼に言われた。「だれでも、手を鋤につけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくありません。」 ルカの福音書９：６２（新改訳）

- グループが困難に直面した時でも決してギブアップをしない

  「善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになります。」 ガラテヤ人への手紙 6:9 （新改訳）

  「正しい者は七たび倒れても、また起き上がるからだ。悪者はつまずいて滅びる。」 箴言２4:16 (新改訳)

リーダーへのアドバイス

あなたは一人ではない。神様はあなたがリーダーとなることを含め、あなたのすべてを御存知です. 自信がないと感じるかも知れませんが、リーダーはみなそう感じるものです。神様はいつも私たちと一緒のいてくださると約束されました。実際にリードする期間が一日であっても、数週であっても、または一生であっても、あなたの奉仕を通してあなたは祝福を受けるはずです。

Notes

SESSION THREE

3. リーダーには何が期待されるか?

- **ホストに期待されること（現在）**

  ホストとは?

  H ave a heart for people　**（人を愛する心を持つ）**

  O pen your home　**（家を開ける）**

  S erve a snack　**（お菓子を出す）**

  T urn on the video　**（ビデオをつける）**

- **リーダーに期待されること（今後）**

L _Listen（聞く）__ **話す以上に聞く**

*「愛する兄弟たち。あなたがたはそのことを知っているのです。しかし、だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。人の怒りは、神の義を実現するものではありません。」*ヤコブの手紙 1:19-20 （新改訳）

E ENGAGE（かかわる） **ケアと成長にかかわる**

「なたがたのうちにいる、神の羊の群れを、牧しなさい。強制されてするのではなく、神に従って、自分から進んでそれをなし、卑しい利得を求める心からではなく、心を込めてそれをしなさい。あなたがたは、その割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。そうすれば、大牧者が現われるときに、あなたがたは、しぼむことのない栄光の冠を受けるのです。」 1 ペテロの手紙 5:2-4 （新改訳）

*「父なる神の御前できよく汚れのない宗教は、孤児や、やもめたちが困っているときに世話をし、この世から自分をきよく守ることです。」*ヤコブの手紙1:27 （新改訳）

*「互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。」*ガラテヤ人への手紙 6:2 （新改訳）

Notes

SESSION THREE

Notes

A ACTIVELY （積極的に）_ 積極的にグループ外の人にも声をかける

*「これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。」*2 コリント人への手紙 5:18（新改訳）

*「私はだれに対しても自由ですが、より多くの人を獲得するために、すべての人の奴隷となりました。」*1 コリント人への手紙9:19（新改訳）

D DEVELOP （養成する）_____ バランスのとれたヘルシーなグループを養成する

「義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます。」 ヤコブの手紙 3:18（新改訳）

E ENCOURAGE （励ます）_ メンバー一人一人が役割を担うことを励ます

「おのおの自分の行ないをよく調べてみなさい。そうすれば、誇れると思ったことも、ただ自分だけの誇りで、ほかの人に対して誇れることではないでしょう。」
ガラテヤ人への手紙6:4（新改訳）

R REMEMBER （忘れない）_ 神様から与えられた使命を忘れない

「さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。」
エペソ人への手紙4:1（NLT）

「彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。『ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの小羊を飼いなさい。』」
ヨハネの福音書21:15（新改訳）

S SURRENDER （委ねる） 全てを神様に委ねる

「そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。」
ローマ人への手紙 12:1（新改訳）

SESSION THREE

Notes

H HUMBLY （へりくだって）誠意を持ってへりくだってグループをリードする

*「謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い、・・・」*エペソ人への手紙 4:2（新改訳）

しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。 私たちは何一つこの世に持って来なかったし、また何一つ持って出ることもできません。」
1 テモテへの手紙 6:6-7（新改訳）

I _INVEST （投資する）_ 将来のリーダー養成のために自分の時間を投資する

「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。」 1 ペテロへの手紙 4:10（新改訳）

「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。」
ピリピ人への手紙 2:3-4（新改訳）

P PRAY （祈る）_グループのために祈り続ける

「すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。」
エペソ人への手紙6:18（新改訳）

パウロの祈りの例：

- ____知恵_____

*「こういうわけで、私は主イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対する愛とを聞いて、あなたがたのために絶えず感謝をささげ、あなたがたのことを覚えて祈っています。どうか、私たちの主イエス・キリストの神、すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。」*エペソ人への手紙1:15-19（新改訳）

SESSION THREE

Notes

- ___実を結ぶ_____

「私たちは、いつもあなたがたのために祈り、私たちの主イエス・キリストの父なる神に感謝しています。それは、キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対してあなたがたが抱いている愛のことを聞いたからです。それらは、あなたがたのために天にたくわえられてある望みに基づくものです。あなたがたは、すでにこの望みのことを、福音の真理のことばの中で聞きました。この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それをほんとうに理解したとき以来、あなたがたの間でも見られるとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広がり続けています。福音はそのようにしてあなたがたに届いたのです。これはあなたがたが私たちと同じしもべである愛するエパフラスから学んだとおりのものです。彼は私たちに代わって仕えている忠実な、キリストの仕え人であって、私たちに、御霊によるあなたがたの愛を知らせてくれました。

こういうわけで、私たちはそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。また、主にかなった歩みをして、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる善行のうちに実を結び、神を知る知識を増し加えられますように。また、神の栄光ある権能に従い、あらゆる力をもって強くされて、忍耐と寛容を尽くし、また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格を私たちに与えてくださった父なる神に、喜びをもって感謝をささげることができますように。」　　コロサイ人への手紙 1:3-12（新改訳）

- ___愛・望み・忍耐_____

「私たちは、いつもあなたがたすべてのために神に感謝し、祈りのときにあなたがたを覚え、絶えず、私たちの父なる神の御前に、あなたがたの信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望みの忍耐を思い起こしています。」
1 テサロニケ人への手紙1:2-3（新改訳）

- ___神様に栄光_____

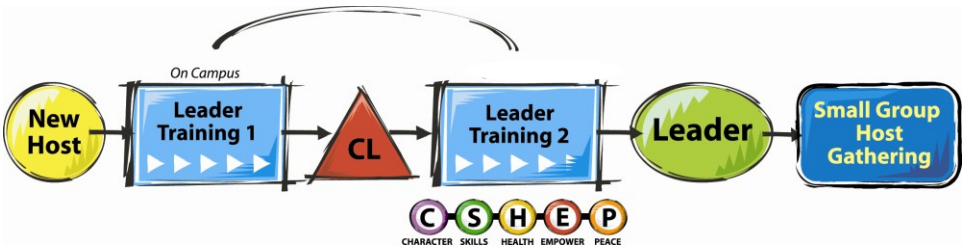
「そのためにも、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがたをお召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を慕うあらゆる願いと信仰の働きとを全うしてくださいますように。それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、主イエスの御名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためです。」
2 テサロニケ人への手紙1:11-12（新改訳）

SESSION THREE

4. どのように サポート するか?

スモールグループ･リーダー養成プロセス

> *「それですから、私はあなたに注意したいのです、私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。」*
>
> 2 テモテ 1:6-7 (新改訳)



スモールグループ・リーダー養成プロセス

みなさんはこれよりホストから、リーダーになろうとしています。リーダーに重要なことは、学ぶ姿勢を持つことです。学ぶことをやめたら、リードをすることができなくなります。神様がみなさんをどう創造され、またそれがスモールグループ・リーダーであるみなさんにどのようなインパクトを与え、またＴＢＣスモールグループ・ミニストリーにどのようにインパクトを与えるかを知るお手伝いをすることが私たちの目標です。そのために、私たちは：

・みなさんのＳＨＡＰＥを見出すお手伝いをいたします。
・伝承できる方法でトレーニングいたします。
・継続サポートと指導によって励まします。

スモールグループ・リーダー養成プロセスにあるように、リーダーは継続する養成プロセスによって、養成されていきます。

Notes

SESSION THREE



ホスト：ここがスタート。スモールグループのホストは他の人がパーパス・ドリヴン・ライフを生きるお手伝いをすることを願う東京バプテスト教会のメンバー。



リーダー・トレーニング 1：教会で開催される新しいホストのためのベーシック・クラス。このクラスでは、以下の３つの事項をカバーします。

1. スモールグループ・ミニストリーの全体像
2. サバイバル・キット
3. サポート・システム



コミュニティ・リーダー：あなたはコミュニティー・リーダー（CL）のもとでリーダーとして学んでいきます。CL はスモールグループ・ミニストリーを熟知している教会のメンバー。CL は親身になって、あなたのスモールグループを支えてくれます。



リーダー・トレーニング 2：5 つの段階に分かれたトレーニング。段階 1 は聖書的なリーダーのあり方について学びます（礼拝）。段階 2 では、ヘルシーなグループを作るのに必要なスキルを学びます（交わり）。段階 3 では、5 つの目的をバランスよく実践するヘルシーなスモールグループをどう作るかを学びます（成長）。段階 4 では、スモールグループで奉仕を奨励する方法を学びます。段階 5 では、いかにみなさんのグループが PEACE プランに参加できるかを学びます。

Notes

SESSION THREE

Notes



リーダー：リーダー・トレーニング 1 と 2 を修了した人を、私たちはスモールグループ・ミニストリーの「リーダー」と呼びます。リーダーはリーダーシップを持ちます。

- **L**isten more than you speak.（聞く）
- **E**ngage in ongoing care and development.（かかわる）
- **A**ctively reach out to those beyond your group.（積極的に）
- **D**evelop a healthy and balanced group.（養成する）
- **E**ncourage every member to share a group role.（励ます）
- **R**emember God's calling in your life.（忘れない）
- **S**urrender all that you are to God.（委ねる）
- **H**umbly lead your group with authenticity.（へりくだって）
- **I**nvest your time in potential Leaders.（投資する）
- **P**ray consistently for your group.（祈る）



スモールグループ・ホスト・ギャザイング（SGHG）：リーダーはラーナー(学ぶ姿勢を持つ人)です。私たちは継続してみなさんにトレーニングを提供したいと思っています。SGHG は一つの目的にフォーカスを当てます。また、実際のニーズに合ったワークショップが提供されます。

基本理念：スモールグループのトレーニングは４つの基本理念に基づきます。

1. **リーダーシップ！（個人の成長）**リーダーたる者は個人レベルで、またリーダーとして、継続して聖書のスタンダードを目指すべきである。

2. **リレーションシップ！（グループの成長）**メンバー同士の励み合い、サポート、アカウンタビリティーは本当の成長には不可欠です。そのため、バランスの取れた指導、激励、アカウンタビリティーを提供することを目標とする。

3. **スチュアードシップ！（他のメンバーの成長）**神様が造られた自分を大切にすることは、神様に敬意を表す一つの方法です。メンバー一人一人が神様に与えられた SHAPE を育て、主の栄光のために用いることも、ホストとリーダーの役割です。

4. **パートナーシップ！（チームの成長）**スモールグループ・ミニストリーをさらに改善していくのが私たちの願いです。アイディア、タレントなどを分かち合うことで、より成功したスモールグループ・ミニストリーになると信じます。

SESSION THREE

Notes

5. 誰があなたを サポート するか?

- コミュニティー・リーダーがお手伝いいたします

コミュニティー・リーダーの役割は?

みなさんは一人ではありません。コミュニティー・リーダーがみなさんをサポートいたします。コミュニティー・リーダーはスモールグループ・ミニストリーを理解し、実際に体験した人です。コミュニティー・リーダーはみなさんとみなさんのスモールグループの成功を切望します。

私のコミュニティー・リーダーは?

コミュニティリーダーの名前 _____

Email _____

*Phone*_____

演習

- **今日のセミナーから新たにスモールグループについて学んだこと、また実際に始めたいことを一つか二つあなたのスモールグループに話してください。**

帰る前に:

スモールグループリーダーアプリケーションに記入してください。

- **リーダー・ガイドラインにもう一度目を通してください。**
- **リーダーが同意するべき事項をもう一度見てください。**
- **リーダーアプリケーションにサインしてください。**

フィードバックカードを記入してください。

NOTE

NOTE

NOTE